



## 自主避難所閉鎖の問題点は

### 警報解除後の対応に課題がある

高松 幸雄 議員

市民協働部長

災害時の一般の指定避難所のうち、避難生活が困難な高齢者や障害者、妊婦など災害時に援助が必要な人たち(要支援者)に配慮した避難施設を「福祉避難所」と言いますが、災害時の要支援者は、直接福祉避難所へ避難はできるのか。優先順位の基準は。

**健康福祉部長** まずは、指定避難所へ避難してもらい聞き取りをする。そのうえで生活に支障を来すため何らかの特別の支援が必要な方については、福祉避難所への避難をお願いする。優先順位の基準は特に設けていないが、指定避難所で要支援者から身体状況の聞き取りをし、生活に支障を来す恐れのある方から優先して移動をしてもらうことになる。

**市民協働部長** 自主避難所とは、台風が上陸や接近する恐れのある場合に、事前に避難を希望する方を対象に一時的に開設されるものである。本市の自主避難所はどこか。

は40人。24号では107人であった。自主避難に関して注意することは。

**市民協働部長** 自主避難所には、食料や飲料水、毛布等を用意していない。また、ペット同行の自主避難はお断りしている。

**市民協働部長** 文化会館、永和地区防災コミュニケーションセンター、立田支所、八開支所、佐織支所。最近の台風による自主避難者の状況は。

**市民協働部長** 台風12号では避難者26人。21号で

今回の台風24号では、深夜3時に暴風警報が解除された。深夜に警報が解除された場合、その後

はどうなるのか。

**市民協働部長** 気象警報等が解除されると、自主避難所を閉鎖するので、帰宅をお願いすることになる。

自主避難する方は高齢者が多いので、外が真っ暗だと危険である。明るくなるまで延長をすることはできないのか。

**市民協働部長** あくまで自主避難の受け入れであるので、警報の解除に伴い、自主避難所を閉鎖する旨を事前に伝え、自主

避難者の了解のもと行っている。夜間の移動については、帰宅者の安全確保に対して心配しているのも事実である。近隣市でも自主避難所の開設については、さまざまな問題を抱え、苦慮している状況にあり、解決すべき課題であると認識している。今後の自主避難所のあり方について、検討していきたいと考える。



▲文化会館に開設された自主避難所